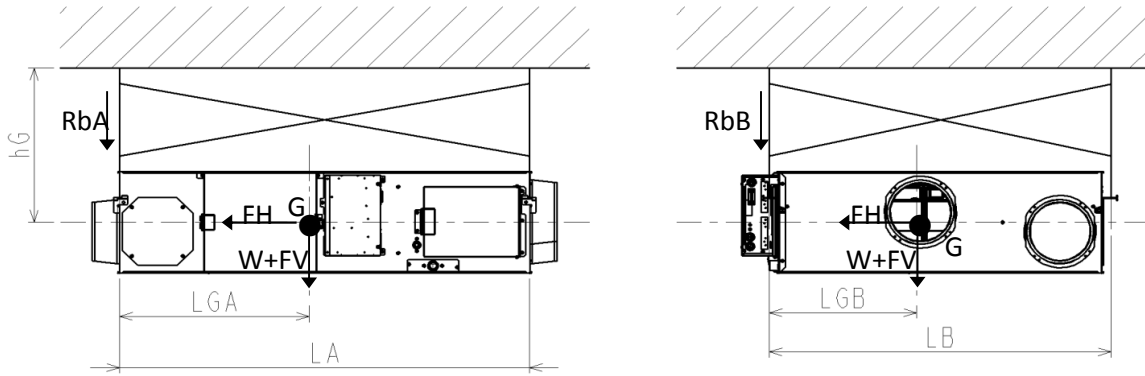


■ 業務用ロスナイ LGH-N25RKS2(D),RKX2(D) 耐震強度検討書



<計算条件>

製品質量	W = 38.0 kg	ボルトから重心 までの距離	LGA = 595 mm
重心高さ	hG = 500 mm	ボルトサイズ	LGB = 363 mm
ボルトスパン	LA = 1199 mm	ボルト総本数	n = 4本
	LB = 782 mm	片側ボルト本数	nt = 2本

各設計用標準震度、地域係数に対する計算結果

設計用標準震度	KS	1.0	1.5	2.0
地域係数	Z	1.0	1.0	1.0
設計用水平震度	KH=KS×Z	1.0	1.5	2.0
設計用水平地震力	FH=KH×W	0.37 kN	0.56 kN	0.74 kN
設計用鉛直地震力	FV=FH/2	0.19 kN	0.28 kN	0.37 kN
アンカーボルト引抜力	$R_b = \frac{FH \times hG + (W \times 9.8 + FV) \times (L - LG)}{L \times n_t}$ <p>* L: LA又はLB、LG: LGAまたはLGB</p>	・ボルトスパンA側(RbA) 0.22 kN 0.28 kN 0.34 kN ・ボルトスパンB側(RbB) 0.27 kN 0.35 kN 0.44 kN		
アンカーボルトせん断応力度	$\tau = \frac{FH}{n \cdot A}$ <p>A: ボルト断面積 M10 0.55cm²</p>	0.17 kN/cm ²	0.25 kN/cm ²	0.34 kN/cm ²
各アンカーボルトの短期許容引抜荷重に対する安全率				
あと施工金属拡張アンカーボルト(おねじ形) 短期許容引抜荷重: 3.8 kN		14.1 倍	10.8 倍	8.7 倍
各アンカーボルトの短期許容せん断応力度に対する安全率				
ボルト(SS400) 短期許容せん断応力度: 10.1 kN/cm ²		59.7 倍	39.8 倍	29.8 倍
ステンレスボルト(A2-50) 短期許容せん断応力度: 9.12 kN/cm ²		53.9 倍	35.9 倍	26.9 倍
以上の計算結果において、上記アンカーボルトM10はいずれも十分な強度を有する				

- ・「建築設備耐震設計・施工指針 2014年度版」を参照しています。
- ・本検討書は上記条件を元にしたアンカーボルトについての強度検討書であり、製品の耐震強度を保証するものではありません。
- ・「建築設備耐震設計・施工指針 2014年度版」に遵守した施工をお願いします。